

試験研究の企画調整

立石章治ほか企画・栽培養殖部職員

【目的】

本県の水産業振興に資する試験研究を計画的・効果的に推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

【令和元年度の実績】

1 試験研究ニーズ等の把握

1) 図書文献の収集整理

当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎月2回程度）。

2) ネット情報の収集整理

随時、インターネット上にある試験研究関連情報等を整理し、研究員等に周知した。

3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握

県内各地で実施した各種研修等や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等からの試験研究に対するニーズの把握に努めた。

2 試験研究の総合的な企画調整

1) 研究開発推進会議

当センターの試験研究業務の適切かつ効果的な推進を図ることを目的に開催した。

- ・日時：令和元年8月28日（水） 13:30～16:00
- ・開催場所：県民交流センター小会議室第4
- ・出席者：研究開発推進会議委員7名、当センター7名
- ・内容：令和元年度終期事業及び継続事業についての評価
令和2年度新規予定事業についての評価

2) 国立研究開発法人水産研究・教育機構との連携等

- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び部会（西海区ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）に出席した。

- ・11課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 国立研究開発法人水産研究・教育機構主催の主な会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
11月7～8日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会，地域増養殖研究部会， 有明海・八代海研究部会	長崎市	副 所 長
11月12～14日	水産利用関係研究開発推進会議及び利用加工技術 部会研究会（品質安全研究会・資源利用研究会）	横浜市	担当職員
12月3～4日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	広島市	担当職員
12月5～6日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	福岡市	所 長
12月11～12日	水産増養殖関係研究開発推進会 魚病部会	伊勢市	担当職員

3) 他県との連携等

①九州・山口ブロック水産試験場長会

各分科会に担当職員が出席した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会及び部会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
8月8～9日	場長会	佐賀市	所長
9月25～26日	磯焼け・藻場造成分科会	別府市	担当職員
10月3～4日	水産加工分科会	宮崎市	担当職員
10月3～4日	漁場環境分科会	宮崎市	担当職員
10月16～17日	漁業・資源分科会	宮崎市	担当職員
11月5～6日	魚病分科会	那覇市	担当職員
11月18日～19日	海面増殖分科会	熊本市	担当職員
1月21～22日	内水面分科会	佐賀市	担当職員

②他県との共同・連携研究

9課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

4) 大学との連携等

①水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産研究交流セミナー」を開催した。

- ・日 時：令和元年10月28日（月） 15:00～17:50
- ・開催場所：鹿児島大学水産学部
- ・出席者：鹿児島大学水産学部11名，当センター22名
- ・内 容：水技センターと水産学部の研究活動の紹介及び情報・意見交換

②大学との共同・連携研究

13大学、11課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

5) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会、情報交換会等に参加し、所員へ伝達し、競争的資金の応募等を促進した。

表3 令和元年度に採択された競争的資金

採 択 課 題	委託元, 制度名等
カンショでん粉のさらなる高付加価値化試験	農林水産省 (農林水産技術会議)
血合肉のすり身化技術による和食ヘルスケア食品の開発	農林水産省 (農林水産技術会議) プロジェクト研究
酸素充填解凍を用いた生鮮用冷凍水産物の高品質化技術開発	農林水産省 (農林水産技術会議) プロジェクト研究
ブリ類新型疾病疫学調査	農林水産省・消費安全局委託事業
ブリのべこ病治療試験	農林水産省・消費安全局委託事業
ウナギ種苗飼育実証試験	水産庁
藻場回復・保全技術の高度化検討調査	農林水産省 (農林水産技術会議)

3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理、評価等を行うため所内会議として4月～5月に業務検討会、10月に進行管理を各部毎に開催した。

4 研究成果の広報・普及

1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能 (ホームページ等) を活用し、研究成果の広報・普及を図った。

※ホームページへの掲載回数「研究の動き」「普及の動き」: 40回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ、研究成果の広報・普及を図った。(「漁業研修推進事業」参照)

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため、機関誌「うしお」を4回 (6, 9, 12, 3月) 発行した。(発行部数: 280部/回)

4) 研究報告会の開催

研究の取組、成果を漁業関係者をはじめ、広く県民に広報・普及を図るため、研究成果発表会を開催した。

- ・期 日：令和2年1月31日（金）
- ・場 所：かごしま県民交流センター 大研修室，中研修室
- ・内 容：

①口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
カンショでん粉から生産した機能性糖アンヒドロフルクトース ～アンヒドロフルクトースを添加したさつまあげの開発～	水産食品部 研究専門員 久保 満
霧島市天降川におけるアユの産卵場造成技術の開発	漁場環境部 研究員 市未拓海
鹿児島県海域におけるサバ類の漁獲動向と来遊予測	資源管理部 研究員 福元亨介
イワガキ種苗量産技術開発の現状と課題	企画・栽培養殖部 研究員 小菌勇貴

②ポスター発表

報 告 課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ビンナガとカツオの漁場予測 ・天然ウナギの標識放流調査 ・赤潮防除剤－入来モンモリの強化版，改良型粘土とは－ ・令和元年八代海で発生したシャットネラ赤潮 ・指宿市岩本でのインターバルカメラによる植食性魚類解析 ・カンパチ人工種苗の現状 ・スマの養殖試験 ・近年の魚病発生の状況 ・「有機セレン化合物」投与によるブリ飼育試験

5) その他

表4 特許等の出願状況

種 別	出願状況等	件 数	内 容	取得年度
特 許 権	登 録 済 み	2 件	・血合い肉利用したすり身等製造法 ・酒盗の凍結乾燥粉末の製造法	H26. 9 H31. 1
	審 査 請 求 中	1 件	・海産魚のべこ病に有効な治療薬とその投与方法	
意 匠 権	登 録 済 み	2 件	・藻場造成ブロック（大型） ・藻場造成ブロック（小型）	H16. 11 H17. 10
計		5 件		

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

表5 研修視察等の受入実績

区 分	受入団体数	受入人数
研修視察	9	201
海外からの視察	2	58
インターンシップ	1	3
漁業者関係, 他	7	140
一般見学	20	1,216
合 計	29	1,417

表6 研修視察等の受入実績の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
受入人数	2,359	1,932	2,043	1,719	1,461	1,948	1,495	1,479	1,824	2,167	1,860	1,512	1,417